

野村博旧蔵『夕刊新東海』カット原画について

愛知県美術館主任学芸員 副田一穂

1923年3月21日、名古屋市に生まれた野村博は、1943年暮れの動員を経て1947年に帝国美術学校(現・武蔵野美術大学)西洋画科を卒業し、その春から新東海新聞社の社会部記者として1952年まで勤めた。その後横浜市へ転居し、『時事新報』(現『産経新聞』)整理部記者として1961年10月まで勤めた。記者の仕事の傍ら、製菓業の青柳総本家社長で写真家の後藤敬一郎が自社店舗内に開設した展示スペース(青柳ギャラリー)の企画に携わり¹、自らも油絵や彫刻、版画の制作を始める。1956年の資生堂画廊(名古屋)での初個展を機に、後藤を含む名古屋の美術家らのグループ「朱泉会」に参加(1957年第5回展から1964年第7回東京展まで)²、1960年代から70年代にかけては東京・銀座の養清堂画廊を中心に版画を発表し、1962年の第3回東京国際版画ビエンナーレ展をはじめ数々の国際版画展への出品を重ねたが、1980年代以降は活動を縮小した。また、1969年4月から1982年3月まで名古屋造形芸術短期大学で版画の非常勤講師として後進を育成した。

愛知県美術館では、2008年に没した野村のご遺族から翌2009年度に版画174件を受贈して以来、コレクション展を通じて幾度かその作品の魅力を紹介してきた。その後の2019年度に、野村が保管していたスナップ写真や新聞カット原画など、野村の新聞記者としての姿や地域の美術家たちとのつながりを示す資料を新たに受贈し、『夕刊新東海』カット原画(JM201900015000)、《朱泉会等記録写真》(JM201900016000)、《野村博関係資料》(JM201900017000)および山本悍右《やさしい回帰》(JF201900001000)という4件に整理した。本稿では、このうち『夕刊新東海』カット原画を目録化して紹介し、その背景をなす若干の情報を補足したい。

『夕刊新東海』について

戦時下の新聞統合によって誕生した一県一紙制に対し、戦後間もない時期に創刊された新聞を総称して新興紙と呼ぶ。占領軍による新聞政策、具体的には1945年10月26日の「用紙配給統制撤廃の覚書」、11月の「新聞及出版用紙割当委員会」創設、そして日本政府の新聞発行保証金制度撤廃が、この新興紙の誕生を促した。結果、1945年12月から1946年10月までに、180の新聞社に用紙が新たに割り当てられ、審議の結果却下された社が400にのぼったという³。愛知県でも、既存県紙の『中部日本新聞』(現『中日新聞』)に対して新たに誕生した新興紙は『中京新聞』、『夕刊新東海』、『東海毎日新聞』、『名古屋タイムス』、『中部経済新聞』、『中部民放』の6紙にのぼった。雨後の筍のように誕生したこれらの新興紙のほとんどは既存紙との競合に敗れ、1952年4月のサンフランシスコ講和条約発効までには休廃刊を余儀なくされている。

1 青柳百年編集委員会『青柳百年』青柳総本家、1979年、28-29頁。

2 野村の朱泉会での活動については次の論文に詳しい。高橋綾子「『朱泉会』が問うもの〔前編〕：前衛精神の葛藤と矛盾1953-1964」『名古屋造形大学紀要』27号、2021年、25-41頁。

3 井川充雄『戦後新興紙とGHQ：新聞用紙をめぐる攻防』世界思想社、2008年。

紙名	僚紙・日夕	創刊年	終刊年	用紙割当部数 ⁴ (1950年9月)
名古屋タイムズ	中部日本新聞系夕刊紙	1946年5月	2008年10月	81,241部
中京新聞	朝日新聞系朝刊紙	1946年6月	1950年12月	(データなし)
夕刊新東海	朝日新聞系夕刊紙	1946年8月	1952年12月休刊 ⁵	100,261部
東海毎日新聞	毎日新聞系朝刊紙	1946年8月	1951年11月休刊	55,536部
中部経済新聞	中部日本新聞系朝刊紙	1946年11月	続刊中	51,206部
中部民報	民報系朝刊紙	1948年1月	1949年1月	(データなし)

『中部日本新聞』が僚紙(協力関係にある新聞)として夕刊紙『名古屋タイムズ』を創刊したのに対し、『朝日新聞』の僚紙として生まれたのが『夕刊新東海』であった。その「創刊のことば」には、次のようにある。「八月一日からわれらの僚紙朝刊『中京新聞』が生まれ續いてこの『新東海』がこの地方の新聞界の仲間入りをするに至ったことも十分有意義なことと確信致す次第であります」⁶。

紙面はブランケット版2面を基本とするが、用紙のやりくりには苦勞したようで、「新聞用紙輸送難のため日本新聞協会の申合せにより本日から供給の見込みがつくまで本紙をタブロイド型に縮小して発行します」などとして、時折タブロイド版で発行された⁷。社屋は「朝日ビル・名古屋本社の一階表側、玄関をはいってすぐ右の30平方メートルほどの床を、片側が中京新聞、一方を新東海と、机の配置の区別があるだけで、社長室はおろか、両者のしきりに衝突もない。片や朝刊、片や夕刊、呉と越ほどの敵対関係こそないが、ともかくふたつの新聞が雑居している」といった体であった⁸。

社としては様々な文化事業を手がけており、たとえば1947年に名古屋初開催となった光風会展は、光風会と新東海新聞社との共催事業として松坂屋で開催、紙面でも大々的に取り上げている⁹。また1947年12月9日に同社主催で行った木村義雄・升田幸三三番将棋においては、観戦記を作家の坂口安吾が引き受け注目を集めた(1948年1月3日から全20回の連載)。

美術家との関連という観点で紙面を概観すれば、創刊号から三岸節子が「新生名古屋点描」と題した7回の連載記事で、名古屋駅、広小路、鶴舞公園、桑原幹根愛知県知事、第八高等学校、名古屋城、名古屋美人について挿絵と文章を寄せている。また、荻須高德「街角に立ちて」(1946年9月)、田村孝之介「働く娘たち」(1947年5月)など、いずれも画家が挿絵と文章で戦後名古屋の情景を切り取っている。西村千太郎「復興祭の広小路」(1946年10月2日)、北川民次「風俗展望」(1947年8月27日)などの単発記事も散見される。

4 森可昭『現場の地方新聞論』垣内出版、1987年、111頁。

5 1951年9月『新東海新聞』に改名。

6 白川威海「創刊のことば」『夕刊新東海』1946年8月5日。

7 社告『夕刊新東海』1946年12月22日。

8 川野友喜『会釈の人々：ある戦後史』光書房、1982年、25頁。

9 『夕刊新東海』1947年5月22日。

『夕刊新東海』における野村博

野村博が手元に残していたカット原画は、22作家77点にのぼる。多くは東海地域の出身か同地を拠点とする美術家によるが、東京を拠点とする三木辰夫や桜井悦、長崎を拠点とする小川緑らのものも含まれている。また、大半は文化時評欄の装飾として記事内容とは無関係に用いられたワンポイントのカットだが、新聞小説や連載記事の挿絵もある。ほとんどの原画には掲載を示すと思しき丸印が捺されており、名古屋市鶴舞中央図書館所蔵の『夕刊新東海』マイクロフィルムを縦覧してそれぞれの掲載日を確認したが、4点の掲載を確認できなかった。

前述のように野村の入社は1947年4月だったが、カット原画のうち最も古いものは1946年12月2日掲載の大沢海蔵によるカットである（no. 2）。飛んで1947年10月28日掲載の三木辰夫《明治神宮》（no. 19-2）から、最も掲載日が下る1950年10月22日の加山四郎のカット（no. 5-7）までは、コンスタントに手元に残している。個々のカットについての情報は目録に記載の通りだが、たとえばウィリアム・ブレイク研究者の梅津済美がアメリカ風俗を伝える連載「アメリカ通信」に北川民次が付した挿画は、第4～8回分のみが残り、井上友一郎による新聞小説「恋人よ我に還れ」に桜井悦が寄せた挿画は第39話と第71話のみが残るなど、野村がどういった経緯や基準でこれらを残したのかは判然としない。

また、野村は「NOM」の筆名でたびたび展評を執筆しており、1948年3月12日の矢部友衛個人展評（丸善三階画廊）以降、鈴木三五郎、新制作派会員展、中部行動美術春季展、辻永個展、中部日本美術展、春潮会同人展、VIVI写真展などの評が確認できる。このうちVIVI社とは前述の後藤敬一郎と山本悍右、服部義文、高田皆義が1947年に結成した前衛写真グループで、野村の展評は1950年第4回展に対するものだ。また新東海新聞社の同僚、川野友喜が展評を執筆した1948年第2回展の記事中には山本悍右の作品《やさしい回帰》の図版が掲載されたが、この紙焼きが野村の手元に残っている¹⁰。VIVI社関連記事は同人らによる寄稿も含め度々紙面を飾っており、この間に後藤や山本と関係を深めたと思しき野村は、1952年4月より後藤が主宰する青柳ギャラリーの企画を担うに至った。同ギャラリーで開催された造形写真作家展（1952年7月18日－31日）では美術文化協会写真部会と並んで新東海新聞社が主催に名を連ね、野村が紙面でこれを大きく紹介している¹¹。

以上、概略的にはあるが『夕刊新東海』と同紙における野村の動きについて示した。生前の野村によれば、カットを持ち込んではずかな謝金を飲み代に替えていた美術家も多かったという¹²。その点、これらのカット原画は、作品発表の場の確保もままならない占領下日本における、紙面を介した美術家たちの交流を示す興味深い資料として評価することができよう。

10 TOM(川野友喜)「素晴らしき頂点:VIVI社展評」『夕刊新東海』1948年7月7日。

11 NOM(野村博)「造形写真作家展」『夕刊新東海』1952年7月22日。

12 名古屋造形芸術短期大学で野村に学んだ版画家の山本近子氏からご教示いただいた。記して感謝する。

凡例

- ・作品は作家ごとにまとめ、作家名五十音順（同一作家の作品は初出掲載日または制作日昇順）に並べた。
- ・作品情報はタイトル、掲載日、技法材質、寸法、掲載印、所蔵作品登録番号の順に記した。なお掲載日は紙面柱の発行日に準拠したが、実際の発行日はその前日である。
- ・掲載箇所の記事内容と関連するものには当該記事名を、記事内容と関連しないものには掲載コーナー名を、それぞれタイトルの（ ）内に示した。

いとう れん
伊藤 廉

1898(明治31)－1983(昭和58)



1-1
無題(文化欄カット)
1949年7月6日掲載
墨、紙
14.3×19.1cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015001



1-2
無題(「ホーム・セクション」
カット)
1949年10月29日掲載
ペン・色鉛筆、紙
15.2×10.3cm
裏面「夕刊一版」印
JM201900015002



1-3
無題(文化欄カット)
1950年7月25日掲載
ペン、紙
9.5×14.2cm
表面「新東海一面」印
JM201900015003



1-4
無題(「ホーム・セクション」
カット)
(掲載確認できず)
ペン・色鉛筆、紙
15.2×10.3cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015004

おおさわ かいぞう
大沢 海蔵

1906(明治39)－1971(昭和46)



2
無題(大沢海蔵「若き世代」カット)
1946年12月2日掲載
墨、紙
20.8×30.0cm
表面「新東海一面」印
JM201900015005

おがわ みどり
小川 緑

1906(明治39)－1988(昭和63)



3-1
無題(文化欄カット)
1949年6月15日掲載
ペン・墨、紙
15.6×14.6cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015006



3-2
無題(文化欄カット)
1949年6月16日掲載
ペン・墨、紙
9.6×12.7cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015007

かとう えいぞう
加藤 栄三

1906(明治39)－1972(昭和47)



4-1
無題(文化欄カット)
1949年10月22日掲載
木炭・ペン、紙、charcoal and
13.1×10.3cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015008



4-2
無題(文化欄カット)
1949年11月2日掲載
1950年6月16日掲載
ペン、紙
13.4×10.1cm
裏面「夕刊一版」印
JM201900015009



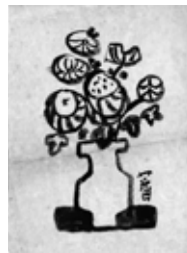
5-4
無題(文化欄カット)
1950年6月14日掲載
墨、紙
28.2×31.1cm
掲載印なし
JM201900015013

かやま しろう
加山 四郎

1900(明治33) - 1972(昭和47)



5-1
無題(文化欄カット)
1949年11月25日掲載
ペン、紙
10.0×13.5cm
裏面「夕刊一版」印
JM201900015010



5-5
無題(文化欄カット)
1950年7月8日掲載
墨、紙
28.2×21.2cm
掲載印なし
JM201900015014



5-2
無題(「ホーム・セクション」
カット)
1950年4月1日掲載
ペン、紙
19.2×13.8cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015011



5-6
無題(文化欄カット)
1950年7月22日掲載
木炭、紙
17.0×11.7cm
掲載印なし
JM201900015015



5-3
無題(文化欄カット)
1950年5月28日掲載
墨、紙
28.1×32.7cm
掲載印なし
JM201900015012



5-7
無題(文化欄カット)
1950年10月22日掲載
墨、紙
28.3×29.0cm
掲載印なし
JM201900015016

かわぐち しろう
川口 四郎

1908(明治41) - 1992(平成4)



6
Mデパート裏にて
([私の好きな場所]カット)
1950年2月7日掲載
墨、紙
14.0×18.2cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015017

きたがわ たみじ
北川 民次

1894(明治27) - 1989(平成元)



7-1
無題(文化欄カット)
1947年12月13日掲載
1948年6月23日掲載
ペン、紙
13.1×11.9cm
掲載印なし
JM201900015018



7-2
無題(文化欄カット)
1947年12月14日掲載
1948年1月31日掲載
ペン、紙
14.6×12.0cm
表面「新東海一面」印
JM201900015019



7-3
無題(文化欄カット)
1947年12月23日掲載
ペン、紙
23.1×20.6cm
表面「新東海一面」印
JM201900015020



7-4
無題(文化欄カット)
1947年12月24日掲載
ペン、紙
12.6×11.7cm
表面「新東海一面」印
JM201900015021



7-5
ハロウキーンの日
(文化欄カット)
1949年7月14日掲載
ペン、紙
14.8×21.1cm
表面「新東海文化欄」印
JM201900015022



7-6
無題(文化欄カット)
1949年7月24日掲載
墨、紙
17.1×17.4cm
「新東海文化欄」印
JM201900015023



7-7
無題(文化欄カット)
1949年9月2日掲載
墨、紙
21.1×15.0cm
表面「新東海文化欄」印
JM201900015024



7-8
無題 (梅津済美「アメリカ通信
④:独力で家を建築 セメントを
練る米婦人」カット)
1949年10月12日掲載
ペン、紙
13.0×17.5cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015025



7-9
無題 (梅津済美「アメリカ通信
⑤:多い不具の学生 美しい心
遣いの周囲」カット)
1949年10月20日掲載
ペン、紙
13.0×17.8cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015026



7-10
無題 (梅津済美「アメリカ通信
⑥:ハロー・ポーズ 勝手の違
うウイニング」カット)
1949年10月26日掲載
ペン、紙
12.9×17.6cm
掲載印なし
JM201900015027



7-11
無題 (梅津済美「アメリカ通信
⑦:アロハ・シャツ」カット)
1949年11月10日掲載
ペン、紙
13.2×17.5cm
裏面「夕刊一版」印
JM201900015028



7-12
無題 (梅津済美「アメリカ通信:
カーニバルの夜」カット)
1949年12月23日掲載
ペン・水彩、紙
13.1×17.6cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015029



7-13
無題 (文化欄カット)
1950年3月18日掲載
墨、紙
17.5×11.3cm
表面「新東海一面」印
JM201900015030



7-14
婦人 (文化欄カット)
1950年5月12日掲載
ペン、紙
18.8×12.8cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015031

さくらい えつ
桜井 悦

1910(明治43) - 1989(平成元)



8-1
井上友一郎「恋人よ我に選
れ」39話挿画
1950年4月27日掲載
ペン・墨、紙
14.3×17.1cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015032



8-2
井上友一郎「恋人よ我に還れ」
71話挿画
1950年5月29日掲載
ペン・墨、紙
12.8×19.2cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015033

しもぎと よしお
下郷 羊雄

1907(明治40) - 1981(昭和56)



9-1
鳴海扇川堤(「私の好きな場所」
カット)
1950年2月21日掲載
墨、紙
18.3×24.1cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015034



9-2
無題(文化欄カット)
1950年3月23日掲載
墨、紙
12.9×11.4cm
表面「新東海一面」印
JM201900015035



9-3
無題(文化欄カット)
1950年4月8日掲載
墨、紙
13.0×10.2cm
表面「新東海一面」印
JM201900015036

すぎもと けんきち
杉本 健吉

1905(明治38) - 2004(平成16)



10-1
無題(文化欄カット)
1949年1月28日掲載
墨・顔料、紙
11.4×13.0cm
表面「新東海一面」印
JM201900015037



10-2
無題(文化欄カット)
1949年2月11日掲載(左右反転)
墨、紙
13.3×8.2cm
表面「新東海一面」印
JM201900015038



10-3
無題(文化欄カット)
1949年3月9日掲載
墨、紙
13.0×9.0cm
表面「新東海■■■」
JM201900015039



10-4
無題(文化欄カット)
1949年5月19日掲載
墨、紙
15.2×14.0cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015040



10-5
無題(文化欄カット)
1949年6月23日掲載
墨、紙
9.7×15.0cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015041



10-6
無題(「ホーム・セクション」
カット)
1949年11月26日掲載
墨・木炭、紙
13.5×12.7cm
掲載印なし
JM201900015042



10-7
無題(「ホーム・セクション」
カット)
1949年12月28日掲載
墨・木炭、紙
13.6×12.8cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015043



10-8
屋上展望(「私の好きな場所」
カット)
1950年2月19日掲載
ペン・墨、紙
18.2×25.7cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015044

たむら かずお
田村 一男

1904(明治37)－1997(平成9)



11
谷汲山一乗院(「谷汲山参り
思い出の画帳」カット)
1950年3月28日掲載
鉛筆、紙
22.0×26.7cm
裏面「新東海増ページ4面」印
JM201900015045

つぼうち せつたろう
坪内 節太郎

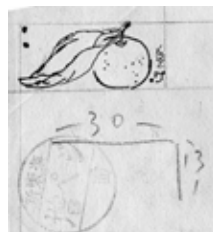
1905(明治38)－1979(昭和54)



12-1
無題(文化欄カット)
1949年7月15日掲載
墨、紙
19.7×13.8cm
表面「新東海文化欄」印
JM201900015046



12-2
無題(文化欄カット)
1950年2月21日掲載
ペン、紙
13.6×8.6cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015047



12-3
無題
(掲載確認できず)
ペン、紙
9.0×8.3cm
表面「新東海増ページ 面」印
JM201900015048

とおやま きよし
遠山 清

1903(明治36) - 1963(昭和38)



13
遠山清「野間の海」カット
1948年8月24日掲載
ペン、紙
13.9×17.5cm
表面「新東海二面」印
JM201900015049

なかの としまさ
仲野 俊正

生没年不詳



14
無題(文化欄カット)
1948年12月10日掲載
墨、紙
12.0×9.7cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015050

なかの やすじろう
中野 安次郎

1901(明治34) - 1992(平成4)



15-1
無題(文化欄カット)
1948年10月19日掲載
ペン・墨、紙
22.8×21.0cm
表面「新東海一面」印
JM201900015051



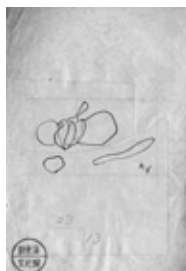
15-2
無題(文化欄カット)
1949年6月11日掲載
ペン・墨、紙
15.7×12.1cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015052

にいぬま きょういち
新沼 杏一

1909(明治42) - 1955(昭和30)



16-1
立秋(文化欄カット)
1949年8月10日掲載
ペン、紙
19.1×13.5cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015053



16-2
秋(文化欄カット)
1949年8月26日掲載
ペン、紙
19.6×13.5cm
表面「新東海文化欄」印
JM201900015054



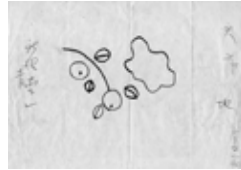
16-3
無題(文化欄カット)
1950年3月9日掲載
ペン、紙
19.0×12.2cm
表面「新東海一面」印
JM201900015055



16-4
無題(「ホーム・セクション」
カット)
1950年3月22日掲載
ペン、紙
19.1×13.0cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015056



16-5
緑陰(文化欄カット)
1950年4月15日掲載
墨・水彩、紙
12.7×18.1cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015057



16-9
無題(文化欄カット)
1950年6月21日掲載
ペン、紙
19.3×27.2cm
掲載印なし
JM201900015061



16-6
五月鯉(文化欄カット)
1950年4月30日掲載
墨・水彩、紙
12.7×18.1cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015058



16-10
無題
(掲載確認できず)
ペン・墨、紙
13.3×19.2cm
表面「夕社一版」印
JM201900015062



16-7
ボート(文化欄カット)
1950年5月10日掲載
墨・水彩、紙
12.8×18.1cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015059

ふじおか はじめ
藤岡 一

1899(明治32)－1974(昭和49)



17
無題(文化欄カット)
1949年11月18日掲載
墨、紙
25.6×18.1cm
表面「夕刊一版」印
JM201900015063



16-8
無題(文化欄カット)
1950年5月20日掲載
ペン、紙
13.4×20.5cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015060

ふるさわ いわみ
古沢 岩美

1912(明治45)－2000(平成12)



18-1
無題(文化欄カット)
1950年3月21日掲載
ペン、紙
13.4×6.0cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015064



18-2
無題(文化欄カット)
1950年6月8日掲載
ペン、紙
14.5×16.0cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015065



20-2
ロンドンの春：英国の小城
([「世界の春③」]カット)
1949年4月6日掲載
ペン、紙
21.1×29.9cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015069

みき たつお
三木 辰夫

1904(明治37) - 1987(昭和62)



19-1
無題
(掲載確認できず)
ペン、紙
27.3×21.3cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015066



20-3
ワシントンの春：馬場のある
小公園([「世界の春④」]カット)
1949年4月9日掲載
ペン、紙
21.1×29.9cm
掲載印なし
JM201900015070



19-2
明治神宮(三木辰夫「新東京風
景⑤」]カット)
1947年10月28日掲載
ペン、紙
12.7×18.2cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015067



20-4
ロシアの春：春の公園([「世界
の春⑥」]カット)
1949年4月14日掲載
ペン、紙
29.9×21.0cm
掲載印なし
JM201900015071

みずたに きよし
水谷 清

1902(明治35) - 1977(昭和52)



20-1
東京の春：国会議事堂([「世界
の春①」]カット)
1949年3月31日掲載
ペン、紙
21.1×29.9cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015068

むらまつ おとひこ
村松 乙彦

1912(大正元) - 1983(昭和58)



21
無題(文化欄カット)
1949年2月22日掲載
墨、紙
13.7×8.4cm
表面「新東海一面」印
JM201900015072

やぶの まさお
藪野 正雄

1907(明治40) - 1990(平成2)



22-1
無題(文化欄カット)
1949年6月18日掲載
ペン、紙
14.4×11.3cm
裏面「新東海文化欄」印
JM201900015073



22-2
無題(文化欄カット)
1950年4月14日掲載
ペン、紙
13.6×16.1cm
表面・裏面「新東海二面」印
JM201900015074



22-3
無題(文化欄カット)
1950年5月24日掲載
ペン、紙
19.6×13.9cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015075



22-4
無題(文化欄カット)
1950年6月14日掲載
ペン、紙
19.4×13.5cm
裏面「新東海二面」印
JM201900015076



22-5
無題(文化欄カット)
1950年7月23日掲載
ペン、紙
19.4×13.6cm
裏面「新東海一面」印
JM201900015077